

## 高病原性鳥インフルエンザの発生状況

2016年12月21日現在

## 高病原性鳥インフルエンザ A(H5N6)

世界のトリでの発生状況 (FAO: <http://empres-i.fao.org/eipws3g/> に基づく) :

低病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスは 1975 年以降、広い地域で検出されていたが、高病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスの家禽での最初の発生は 2014 年であり、中国から報告された。2016 年 1 月から同年 12 月 20 日までの期間に報告されたトリでのアウトブレイクは、5 か国から 50 件である (韓国 25 件、ベトナム 8 件、中国 7 件、日本 8 件、香港 2 件)。現在のところ、高病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスはヒトに感受性を持つような変異やタミフル耐性になるような変異は見られず、また、哺乳動物に対して病原性が強くなる性質を持つような変異も見られていない。

日本のトリでの発生状況 (環境省 HP: [http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/) に基づく) :

2016 年 10 月 31 日～12 月 20 日の期間、14 道県から高病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスが陽性となったトリ等の報告例があった (北海道 5 例、青森県 4 例、秋田県 6 例、岩手県 2 例、新潟県 10 例、福島県 1 例、宮城県 2 例、栃木県 1 例、茨城県 5 例、愛知県 8 例、三重県 1 例、兵庫県 1 例、鳥取県 5 例、鹿児島県 30 例)。トリの内訳は、野鳥 56 例、家禽 5 例、環境試料 6 例、動物園の飼育鳥 14 例であった。また、宮崎県では家禽における鳥インフルエンザ感染について確定検査中である。各都道府県の対応としては、秋田県の動物園では園内のトリを 132 羽殺処分、青森県では家禽 23,080 羽を殺処分、新潟県では家禽 55 万羽を殺処分、愛知県の動物園では鳥インフルエンザの感染が確認された 2 羽を殺処分し、動物園エリアを休園とし、北海道では家禽 28 万羽を殺処分している。また、鳥インフルエンザ疑い例或いは、確定例が報告された道県では、何れも野鳥監視重点区域での監視を強化している。これまでのところ、日本で分離された高病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスについてもヒトに感受性を持つような変異は検出されていない。

## 世界のヒトでの発生状況 :

鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスでヒトへの感染が報告されている症例は下記の表の通りである。2014 年 5 月に初発例が確認され以後、2016 年 12 月 5 日現在までに計 16 例 (うち死亡 10 例) の報告があり、すべて中国からである。年齢中央値は 40 歳 (11～65 歳)、男性 7 例、女 9 例だった。16 例中 13 例に鳥との接触を認めている。ヒト-ヒト感染の報告はない。

表. 鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスのヒトへの感染例 n=16, 2014～2016 年 (12 月 21 日現在)

No	報告年月	報告国 (行政区)	年齢	性別	発症日	トリとの接触歴	転帰	情報源*
1	2014 5月	中国 四川省 南充市	49	男	2014	死んだ家禽	死亡	WHO
2	2014 12月	中国 広東省 広州市	58	男	2014/12/4	家禽	重症	WHO
3	2015 2月	中国 雲南省 デチエン・チベット族自治州	44	男	2015/1/27	死んだ野鳥	死亡	WHO
4	2015 7月	中国 雲南省 デチエン・チベット族自治州	37	女	2015/7/6		死亡	WHO
5	2016 1月	中国 広東省 揭陽市	42	男	2015/12/12	生鳥市場	死亡	WHO
6	2016 1月	中国 広東省 肇慶市	40	女	2015/12/22	生鳥市場	重症→死亡*	WHO/Emerging Infectious Diseases 22, 8 August 2016
7	2016 1月	中国 広東省 深圳市	26	女	2015/12/24	家禽の肉を扱った	死亡	WHO
8	2016 1月	中国 広東省 深圳市	25	男	2016/1/1	生鳥市場	死亡	WHO
9	2016 1月	中国 広東省 深圳市	31	女	2016/1/8		重症	WHO
10	2016 3月	中国 広東省 惠州市	40	女	2016/2/20	生鳥市場	重症→死亡*	WHO/Hong Kong Centre for Health Protection
11	2016 5月	中国 湖北省 神農架林区	35	男	2016/4/9	生鳥市場	軽快	WHO
12	2016 5月	中国 湖南省 株洲市	11	女	2016/4/11	家禽	軽快	WHO
13	2016 5月	中国 安徽省 宣城市	65	女	2016/4/24	家禽	重症	WHO
14	2016 7月	中国 湖南省 湘西トゥチャ族ミャオ族自治州	50	男	2016/5/23		重症→死亡*	WHO/Health and Family Planning Commission of Hunan Province
15	2016 11月	中国 湖南省 邵陽市	47	女	2016/11/18	死んだ家禽*	重症→死亡*	WHO/Hunan provincial Center for Disease Control and Prevention
16*	2016 12月	中国 広西チワン族自治区	30	女	2016/11/8	死んだ家禽	重症	WHO

\*WHO 本部および WHO 西太平洋地域事務局の情報に加え、他の政府系公式情報源より得られた情報を含む

## 高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8)

世界のトリでの発生状況 (OIE: <http://www.oie.int/animal-health-in-the-world/update-on-avian-influenza/2016/> に基づく) :

高病原性鳥インフルエンザ A (H5N8) ウイルスは 2014 年にはじめて確認され、年々新規の報告国は増加している。現在流行中の株は、2016 年 6 月にロシアにおいて野鳥から検出され、同年 11 月頃より野鳥の渡りの経路に沿って、アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカから立て続けに報告されている。現在、20 か国 (オーストリア、クロアチア、デンマーク、ドイツ、ハンガリー、インド、イスラエル、オランダ、ポーランド、ロシア、スイス、イラン、スウェーデン、フィンランド、ルーマニア、フランス、エジプト、セルビア、チュニジア、台湾) から報告されている。また、2016 年 12 月 19 日、韓国の農林畜産食品部は、ソウルの南に位置する京畿道で採取された野生の鳥の糞試料から高病原性鳥インフルエンザ A (H5N8) ウイルスが検出されたと報告した [http://www.mafra.go.kr/list.jsp?newsid=155448883&section\\_id=b\\_sec\\_1&pageNo=1&year=&month=&listcnt=5&board\\_kind=C&board\\_skin\\_id=C3&depth=1&division=B&group\\_id=3&menu\\_id=1125&reference=&parent\\_code=3&popup\\_yn=&tab\\_yn=](http://www.mafra.go.kr/list.jsp?newsid=155448883&section_id=b_sec_1&pageNo=1&year=&month=&listcnt=5&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=)。2014 年/2015 年シーズンの高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8)の解析では、ヒトに感受性を持つような変異は検出されていない。

日本のトリでの発生状況 (環境省 HP: [http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/) に基づく) :

日本では、2014 年にはじめて家禽および野鳥から高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8)が検出された。2016 年は現在のところ、家禽および野鳥のいずれからも高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8)は検出されていない。

世界のヒトでの発生状況 :

現在までのところ、高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8)のヒトの感染例は報告がない。